昭和43年3月15日　No. 178

広報 おおわじめ

編集と発行　鹿児島県肝属郡大根占町役場 総務課 文書広報係（電話 大根占局 1・69・254番）
印刷　逆瀬川印刷所（電話 140番）

たばこは町内の店で買いましょう。

町の人口　昭和43年2月1日 現在推計人口
男 5,687人　女 6,490人　計 12,177人
前月より 16人減

とじて保存しておきましょう。

体験構想の発表や各種表彰も
四二年度町振興大会
ことしから趣向も新たに

（にぎわった町振興大会）

四二年度の町振興大会は三月七日に大根占小学校体育館で開かれました。

ことしは、これまでの「農業振興大会」から、更に一歩進んで、「大根占町振興大会」とし、納税関係や、道路愛護関係の表彰等も一しょに行なわれました。

当日は、町長のあいさつについで、川南部落（田代高校本年卒）仮屋六男君の「農業後継者を志して」、壱崎部落（四二年度青年建設班参加）新久保みよ子さんの「農村青年建設班に参加して」、安水部落（四二年度青年建設班参加）安水節弘の「我が家の農業経営と今後の方向」と題して、それぞれ体験や構想の発表がありました。

ついで、県農産蚕糸課長、蒲牟田喜之助先生の「当面の農政問題」と題して、約一時間にわたって、有意義な話がありました。

このあと、各種の表彰があり午後三時終了しました。

当日の表彰者は次のとおり

※蚕繭出荷優良者

1、総収納代金

一等、石峰求（大尾）二等 落河清志（〃）三等、山下辰夫（〃）、永峰久男（岩元）黒瀬広志（才原）

2、一〇アール当り収納代金

一等、鮫島春夫（才原）二等、黒瀬広志、鮫島節（才原）三等、山下辰夫、永峰久男

※みかん
幼樹園品評会

一等、大園末義（大久保）二等、真戸原良雄（〃）永田道徳（鳥浜）三等、鳥越博志（六反田）上園友吉（中園）真戸原昇（大久保）前田正人（鳥浜）福岡ちづ子（上之宇都）上園義民（宮脇）福永覚蔵（神川上）

※ぽんかん
果実品評会

一等、新原兵助（神川上）二等、仮屋吉彦（〃）長元幹夫（鳥浜）三等、坂下盛雄（鳥浜）前田正久（〃）前田正人（〃）皆倉俊夫（皆倉）福永覚蔵（神川上）

※きぬさやえんどう
出荷優良者

一等、永田道徳（鳥浜）加塩正熊（鳥井戸一区）二等、上園良弘（鳥浜）東岩夫（ふもと）川越茂則（大橋上）山下方造（木場）三等、永田喜義（鳥浜）中園重雄（山ノ口）中馬好弘（〃）福永利秀（鳥浜）長元幹夫（〃）吉山藤巳（鳥井戸一区）大迫アキノ（山ノ口）前田正人（鳥浜）馬場盛蔵（鳥井戸一区）

※葉たばこ
収納優良者

1、総収納代金

一等、安水畝熊（安水）二等 白井太郎（白井）押領司才蔵（川南）仮屋虎二（川北）三等、安水ミツ（安水）遊喜優（瀬戸山）押領司友喜（川北）安水茂助（安水）大園与蔵（川北）内園為雄（麓）厚ケ瀬博（厚ケ瀬）

2、一〇アール当り収納代金

一等、堀之内九二郎（山ノ口）二等、矢野正文（山添）松元輝男（〃）松元茂（塩屋）三等、遊喜優、坪内盛夫（六反田）大田中文夫（寺前）横山真（塩屋）新田実（山ノ口）

※林業関係優良者

1、しいたけ

特等、中道義弘（毛下）一等 田口禎作（段中野）二等、木下登（〃）落河清志（大尾）三等、中野与助（段中野）椿山市太郎（半下石）鈴辰己（笹原）

2、きくらげ

一等、押領司要（川南）落河清志

3、間ばつ造林

特等、厚ケ瀬皆吉（厚ケ瀬）一等、池山茂男（瀬戸山）二等、石峰求、参加賞、小川一志、上玉利満夫、岩崎喜蔵 別府秀則

大会申し合わせ

昭和四十二年度を回顧するに、ときあたかも明治百年を記念するにふさわしく、許容さるべき範囲において、幾多の施策を推進し、町政史上一大エポック（新時代）を築く躍進の年であった。

しかしながら、農作物も近来まれな豊作に恵まれたとは言え、総ての町民の生活が好転したとは一概に是認できない。

従って、農外収入への依存と、出稼農家の町外流出は依然として後を絶っていない。かかる現状を打開すべく、高度経済成長下における財政硬直策の試練にたえながら、国民経済の伸長に順応して、あらゆる拘束条件を克服しながら産業の構造を改善し、町民総生産の増大と、生活権の擁護をはかるために、町民一人一人が、郷土を愛し、相互の親愛感で結束しなければならない。

ここに、町民の総意を結集した昭和四十二年度大根占町振興大会において、次のことを決議し、住みよい大根占町を建設しょう。

一、産業の構造を改善し、経営の基盤を確立しょう。
二、町財政の確立に協力しょう。
三、道路を愛護して産業振興に寄与しょう。
四、未来を託す健全な青少年を育成しょう。
五、郷土を愛し、相互扶助の意識を強めよう。

これら五原則を座右の銘として実践し、力強く建設の歩一歩をふみだそう。

昭和四十三年三月七日
大根占町振興大会

以上は、三月七日、大根占町振興大会で申し合せされた事項です。全町民皆さん方のご賛同をお願いします。

（振興大会関係記事二面に続く）

※特別個人の表彰

◎貴島正清さん（山ノ口）

畜産（特に和牛）界に関係され、いつも優良牛の導入や、牛の飼いかたの指導普及に当られるかたわら、自分でも肉牛を飼育され、毎年のように郡や県の肉牛共進会にも出場され、よい成績をあげておられます

とくに、きよ年十二月に開かれた、県の肉牛共進会では見事農林大臣賞を獲得されるなど、本町和牛の振興にこうけんされた功績は大きく、町ではこれを表彰したものです

◎大園友二さん（川南）

大園さん一家は、家族あげて和牛の飼育に熱心で、きよ年十月開かれた県の畜産共進会で、三部で優等に入賞し、「大根占牛」の声価を高め、町の和牛振興に寄与された功績に対し、表彰されたものです。

◎命苫幸夫さん（命苫）

命苫さんは、かねてから、林業経営に非常に熱心で、いろいろな研修会等にも参加しておられます。

このほど、大日本山林会、全国林業経営改良普及協会共催の全国林業経営推奨行事、複合林業経営の部で、農林大臣賞を受賞されました。

これは、単に命苫さんだけの名誉でなく、本町の林業経営者にとって、一つの指標となるもので、町はこれに対して表彰状をお贈りしたものです。

※優良機能集団の表彰

◎六反田肥育牛グループ

（代表者、鳥越美儀）

グループ員八人が、それぞれ四～八頭の肥育牛を飼育し共同して研修を重ねながら、質の向上、頭数の増加、収益の増大をはかり、町内肥育牛の拠点たらしめた功績による

◎馬場総代区

（総代、岩下次男）

葉たばこ耕作者十七人全員が、一致団結して指導員の指導をよく守り、一〇アール当りの収納代金を飛躍的に増加させ、他にさきがけて、集団栽培（九九パーセント）にふみきり、生育の均一化をはかり、収益の増加に努めた功績によるもの。

◎施設園芸グループ

（代表、松元清二）

本町が、施設園芸パイロット地区に指定されると、すぐグループ員八人は、多額の経費を投じてピーマンの栽培に取り組み、あらゆる障害をのり越えて目的達成に努力しておられます。

42年度、納税貯蓄組合の表彰

1、十年継続完納組合
鳥井戸二区、大尾

2、五年継続完納組合
中西、神之浜二区、本町、京町、中園、白井

3、各税の納期内完納組合及び組合長
弓場下、中浜鶴吉、鳥井戸一区、吉山藤巳、同二区、黒木豊吉、同三区、瀬占アキ、木場、浜崎鶴男、大橋上伊勢時男、大橋下、馬場口三義、山ノ口、岩元親、中西与次郎、神之浜一区、黒木純徳、本町、田貫清吉、京町、桜井森蔵、旭町、厚ケ瀬源次、神川新町、山王秀哉、桜原、中村正男、安水、池水都男、笑喜上、笑喜清春、落河、上玉利静夫、大尾、中馬重男、岩元、米満清造

きよ年十月に実施された国・県道の愛護作業は、排水設備と除草、伐採を重点的に実施していただきましたが、町民皆さんのご協力で立派にでき、大根占土木事務所管内では、本町が総合成績で一位になりました。

また、岩元部落が優秀部落として県から表彰されております

町では、特に秀れた次の十部落に感謝状を贈りました。

岩元、命苫、半下石、白井、川北、川南、段中野、馬場中原、松坂、毛下

42年度、道路愛護作業関係

青少年の非行防止を
＝春の防犯運動＝

町の防犯組合（組合長、坂元町長）では警察署の指導を得て、三月二十一日から、四月十日まで、「春の防犯運動」を実施し、町内から犯罪をなくすることにしています

春は行楽のシーズン!!外出する機会が多くなり、農作業も忙しくなることから、この時期にいろいろな犯罪がおこりがちです。

町の防犯組合（組合長、坂元町長）では警察署の指導を得て、三月二十一日から、四月十日まで、「春の防犯運動」を実施し、町内から犯罪をなくすることにしています

春は行楽のシーズン!!外出する機会が多くなり、農作業も忙しくなることから、この時期にいろいろな犯罪がおこりがちです。

一方、酒のうえでの迷惑行為が例年目立っています。

また、青少年にとっては、卒業期を迎え、ひとつの課程を終えた安心感と開放感、さらに行楽気分等の影響から、非行に走りやすい時期でもあります。

そこで、次のことを重点にして、お互いの自覚と、実践をお願いします。

一、盗犯の予防

イ、外出するときは、戸締り、鍵かけを確実にすること

ロ、被害を受けたら、現場はそのままにして、少しでも早く警察に届けること。

二、青少年の非行防止

イ、進学、就職期の非行防止

この時間は、送別会、進学就職祝などが多く、解放感から、酒やたばこをのんだり、暴力、傷害事件などを犯かした事例が多いです。

保護者はもちろん、周囲の人が充分注意してやりましょう。

ロ、青少年非行の原因が、環境が悪いために原因していることが多いので、おとなたちが自しゅくして、環境をよくする世論を盛りあげよう。

三、交通事故の防止

交通事故の問題は、今さら言うまでもありませんが

ア、飲酒運転は決してしないこと

イ、スピードを出さないこと

特に新学期が始まると、新らしい一年生等、交通知識のない児童が多くなります、車を運転する人は、特に注意してください。

以上のことについて、良く守り、明るい町づくりに協力しましょう

～移動県民室～
民生関係がトップ

県政のことについて、住民と、県の係員と直接話し合う「移動県民室」が、去る三月一日、大根占小学校の体育館で開かれました。

県が、県下各地で開催しているこの「移動県民室」は、本町では初めての催しだけに多くの相談者が予想されましたが、開催時間の午前九時三十分から、午後四時までの間に相談に訪れた人は、全部で百五人でした。

これを内容別にみますと、法律相談三、軍人恩給、遺族援護関係三九、生活関係二、国民年金八、農政一般一、農業金融一、畜産二、農地五、果樹一、林業四、商政金融二水産三、保健衛生三四、合計一〇五件となっています。

県の係員の話では、他の町にくらべて県政一般、農政一般、畜産部門等に対する相談が非常に少なく感じられるとのことです。

こんどの「移動県民室」は大根占、根占、佐多、田代の四ヶ町で開かれましたが、他の町の相談件数を、参考までに附記しますと、根占町一一八件、佐多町一〇六件田代町七八件、となっています。

（熱心に相談する町民）

明治百年
記念行事のお知らせ

ことしは、明治百年に当ります。

われわれの郷土鹿児島の先輩たちが、「日本近代化」のために立ち上がり、新しい政府をつくり上げてからちょうど百年になるわけです。

鹿児島では、四月六日を明治百年記念の日と決め、佐藤総理をはじめ、西郷、大久保など明治元勲の子孫を招いて盛大な記念式典が開かれます

また、県と南日本新聞社では、四月六日から二十九日まで、鹿児島市の山形屋と丸屋の両デパートで「日本の開眼鹿児島百年展」を開きます。

これは、当時の人たちが、どのような環境に育ち、どのような考えで国難に立ち向かったか、貴重な資料を豊富に使っておみせします。

またNHKにお願いして、東郷元帥や乃木大将などの肉声もお聞かせすることにしています。

四月には、百年に一度この歴史的な展覧会をぜひ見学するようにご計画下さい。

南日本新聞社

売り上げを五二〇万円に
養蚕振興会総会

町の養蚕振興会の総会が、二月二六日、大尾公民館でありました。

きよ年から、宿利原校区内の、大尾、才原、落河、笑喜命苫、岩元、各部落と、神川の中原の一部の人たちによってはじめられた養蚕は、晩秋蚕の一作だけが収獲されましたが、初年度としては上出来の成績でした。

現在、桑園六・四ヘクタールが植栽されていますが、ことしは、更に一二・五ヘクタールを新植して、春、初秋晩秋合わせて、一九一〇グラムの雅蚕を飼育し、産蚕量五千二百キログラムを生産する計画です。これでいきますと現在の価格では、総代金約、五二〇万円の売り上げが予想されます。

飼育農家も、きよ年の三六戸から、ことしは五六戸にふえ、養蚕専業農家として自立できるようになるんだ、と大へんな意気ごみです。

（養蚕振興大会の模様）

養蚕は、煙草作との関連から、町内どこでも、というわけにいきませんが、煙草作の比較的少ない地方では、非常に有利な作目と考えられます

養蚕振興会では、生糸の需要増加によって、経営規模の拡大と、省力養蚕の技術を積極的に導入し、農業農家の育成と、復合経営の合理化をはかることにしています。

池田分団に新型ポンプ車
機動力増す消防施設

池田分団に配置される新型の消防ポンプ自動車が、このほど到着、去る二月六日、その入魂式が池田中学校でありました。

同分団は、団員四三人、これまで、運搬車一台、小型動力ポンプ三台が常置されていましたが、この新型車の配置で消防力は倍増することになります。

こんど購入したポンプ車は車体はニッサンF四一、二〇〇〇CCのエンヂンを登載、市原式ポンプを装備、巻型吸管二本、放口、及口を左右にそれぞれ一個結合できます。

価格は、一六九万円、うち国庫補助金四七万円、地元寄附一五万円、町費一〇七万円（起債一〇〇万円）となっています。

（購入された消防自動車）

宿中が連続優勝
町内一周駅伝大会

ことしの町内一周駅伝競走は、二月十七日に行なわれました。

中学校五チーム、一般六チーム、計十一チームが参加して行なわれたこの大会は、午後一時大根占小学校前をスタート、中学校十区間、一般七区間にわたって熱戦がくりひろげられましたが、接戦の末中学校では、宿利原中学校が昨年に引きつづき、一時間五八分〇九秒の好タイムで一着二着は、池田中以下、宿利原中B、神川中、大根占中の順でした。

一般では、一着池田青年団以下、宿利原、神川、笹原、城元、鳥井戸の各青年団の順でした。

なお区間賞は、中学校では一区宿中A美濃田光洋、二区同B、山下利美、三区同A、米満金文、四区同、田中邦明五区同B、福元幸盛、六区池中、横井功、七区宿中A、厚ケ瀬六男、八区同鎌ケ迫実、九区同、中村良和、十区間、笑喜久文、

（いつせいにスタートした選手）

一般では、一区神川青年、壱崎英明、二区宿青年、宿利原繁、三区同美濃田正美、四区池田青年、青木健悟、五区同安楽茂美、六同区、白井政信、七区同、半下石三郎、以上の人たちでした。

しっかりがんばって下さい
中卒就職者壮行会

ことしの中学卒業生は、全部で四〇三人、うち就職する人が一七七人おります。

町では、三月十一日、大根占小学校体育館で、これらの人をはげます「就職壮行会」を開きました。

町長から「立派な産業人としてがんばってください」という意味の激励の言葉についで、来賓の方からも、お祝いと、励げましの言葉がありました。

ついで、在校生代表、大中の入船良文君から「しっかりがんばってください」との励げましを受けたあと、就職者を代表して、宿中、上玉利クミ子さんが「皆さんの期待に応えるよう、しっかりやります。」と力強い答辞がありました。このあと、レクレーションや記念撮影等があり正后すぎ散会しました。

戸籍に関する情報は
ホームページ上では
掲載していません

米の増産と取り組む
神川で集団栽培を実施

ここ数年来、消費生活の向上に伴って、農産物の需用の形態が大きく変って来ています。これまでの米穀主義から果樹、畜産物の消費が大きくのび、農業経営の方向も、これに即応した経営に切り替えるよう、いろいろな施策や指導がなされてきています。

しかし、米が日本人の主食となっている以上米作りをなおざりにしてしまうことはできません。食管法によって価格が保証され、政府が責任をもって買入れる農産物は米以外に多くないのもそのためだと云えます。

このことは、これまでの町報でもいろいろお知らせし、農家の自覚を促してきたわけです。

このようなことから、神川水田の約五ヘクタールの耕作者六三人が主体になって、「稲作集団栽培事業」を実施して、稲作技術の向上をはかり米作の安定をはかることにしています。

この集団栽培事業は、作付けする品種を統一することはもちろん、苗代作業、田植、病虫害の防除作業等、収穫を除くすべての作業を共同化していくものです。

事業の行なわれる水田は、国道二六九号線を中心にして神川小学校から同中学校に通ずる町道・迫平線と、県道、神川・内ノ浦線（旧久持線）の起点（神川中部落、水流勇吉商店前）附近から、農協澱粉工場附近までと、南側は、神之川護岸堤防に至る通称、「原田たんぼ」です。

使用する品種は「こしひかり」で、計画では、三月六日に浸種、十五日には種まきされ四月十五日ごろから田植えがなされる予定です。

すでに、三月二日に第一回目の共同防除が実施され、メオバールを一〇アール当り三キログラム撒布しています。

（第1回目の共同防除作業）

体重測定も実施
登録検査基準が変ります

牛の登録検査の基準がかわって、四十三年度から、新らしい基準で審査が行なわれます。

次に、改正されたおもな点のうち、牝牛の分について簡単にお知らせします。

まず、検査は、これまでの体高、胸囲のほかに、体重、胸深、腰幅、かん幅を測定するようになります。特に体積は重要視され、肥え過ぎたものあるいは、やせたものは、減率の対象にされます。

これまで、十四個所について採点されていましたが、これが、十一個所について審査されます。それから、牛を横から見たとき（側望）、あるいは、後からみたとき（後望）に、幅や厚みのあるものでなければいけません。

次の表は、月令別の登録時の発育基準を示したものですが、成熟した体型の目標は、六〇ケ月（五才）で体高、一二五センチ、体重、五二〇キログラム、胸囲、一九四センチ、胸深、七〇センチ、かん幅四七センチが目標とされています。

このように今後は、体積、特に体の幅と、後駆の発育の促進をはかるように心がけるよう強く望まれています。

月令	体高 cm	胸囲 cm	体重 Kg	胸深	かん巾
16ケ月	117～120	165～175	340～360	61～64cm	40～42cm
18ケ月	118～121	170～180	380～400	62～65	41～43
20ケ月	119～122	175～185	400～420	63～66	42～44
22ケ月	120～123	178～188	420～440	64～67	43～45
24ケ月	121～124	180～190	430～450	65～68	44～46

突風で大きな被害
施設園芸集団パイロット事業

二月十四日の突風で、県下各地の施設園芸が、大きな被害を受け、新聞等で大きく報道されましたが、本町の施設園芸集団パイロット事業も大きな被害を受けました。

十四日夜半から襲ったこの突風は、瞬間最大風速二十九メートルと言われ、園芸施設用のビニールハウスをはじめたばこ苗床用ビニールハウス等に大きな被害を与えました

本町では、山ノ口に設置されている「施設園芸集団パイロット事業」による施設（ピーマン植栽）六棟のうち、北側の三棟が倒れたため、生育中のピーマンにも大きな被害を受け、施設の被害と合わせると、総額、約二五〇万円にものぼるものとみられています。

関係農家でも、このように大きな災害を受けはしましたが、すぐ復旧作業にとりかかり、災害を乗りこえてやりとげようという強い意志のもとに生産にはげんでいます。

（突風で倒れたビニールハウス）

雨は幾分多い見込み
四・五月のお天気

鹿児島地方気象台では、四五月の鹿児島地方の天気を、次のように報じています。

農作業の参考にしてください

四月、高気圧と低気圧が交互に通り、天気は周期的に変わりますが、高気圧は南にかたよって通りますので、温暖な日が多いでしょう。気温はやや高く、降水量はやや多いでしょう。日照はやや少ない見込みです。

五月、移動性高気圧が、北にかたよって通り、大平洋高気圧は、日本の南に張り出す見込みです。このため、前線が日本付近に停滞しやすく、雲りや雨の日が多いでしょう

気温はやや高く、降水量はやや多いでしょう。日照はやや少ない見込みです。

やよいの三月を迎えて、ようやく冬の寒さから解放され私たちの生活が明るく楽しくなってきます。それはやがてやってくる陽春の季節への期待があるからでしょう。

とはいえ、この三月は、受験、進級、進学、就職などの準備で、こどもを中心とする雑事が多く、主婦は心労の多い月でもあります。そして、こんなときこそ母の愛情と賢明さが、いちばん必要なときです。とくに、受験に失敗したこどものお母さんには…。

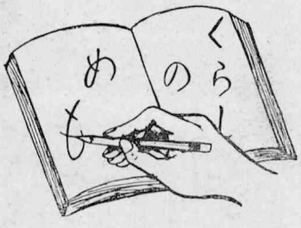
気候も、季節の変わり目に当り、急に暖かになったり寒さがもり返したりして衣服などの調節に十分気を配らねばなりません。

◎新入学児の心の準備と身のまわり

四月の入学期をひかえ新入学児をもつおかあさんたちは何かと気ぜわしいことでしょう。

まず「心がまえ」です。これまで、お母さんや、おねえさんの手をわずらわせていた衣服類の着脱もできるだけひとりでできるように習慣づけましょう。

幼稚園にかよっていたお子さんは、これまでより始業が一時間は早いはずですから、いまのうちから早起きのくせをつけることもたいせつです



ともかく、自分でできることとおかあさんたちが手つだってやることの区別を見きわめて、幼児気分から一年生らしい生活にはいるしつけが肝心です。

一方、おかあさんたちも、新しい生活にはいるお子さんの不安をよく理解して、身のまわりのものの準備などに十分心をくばってあげたいものです

まず服装……。入学早々身体検査などがあって、ひとりで着物をぬいだり着たりする機会が多いはずです。服装はあまり複雑なデザインのものより、簡単なものをえらんであげましょう。

もちもの……。かばん、ふでばこなども、あまり精巧なものは扱いも複雑になりがちです。中のものを出し入れするのに手間のかからない品をえらんであげましょう。また、あまりまわりのこどもとかけはなれたぜいたく品はさけたいものです。

なまえをつけてあげる…。持ちものは大小にかかわらず名前をつけてあげましょう衣類も同様です。教科書におおいをかける場合は、すきとおって中の表紙がすけて見える材料を使ってあげます。こどもは絵がらで、なんの教科書か判断します。